

2016年 秋

伊丹市議会議員 高塚ばんこの議会だより 第6号

ばんことジャンプ!

自転車と歩行者が安全に通行するために —ハード整備だけで十分ですか？

近隣から本泉寺の工事現場を見下ろす（11月下旬）



今年の事業で、2億6千万円の工事費で可決された「ハイテク駐輪場整備」。

設置場所となる本泉寺さんでは、埋蔵文化財の調査の真っ最中です。ランニングコストさえ使用料でまかなえない、と複数の会派から意見が出ましたが、間もなく、随意契約で業者が決まる予定です。完成は平成30年4月の予定。これでJR駅前の違法駐輪は解消されると見込んでいます。

市道に続き、市内を南北に縦断する五合橋線でも自転車道の整備が進んでいます。街路樹を抜いて歩道を拡幅し、路面のアスファルト舗装も新しくなりました。走り易くなると、スピードを出す人や、自転車道を逆走する人も見受けられます。

阪急伊丹駅前の歩道に設置された駐輪ラックも、自転車利用者からは好評ですが、歩行者や高齢者からは危険だとかラック以外の場所にも止めている、とのご指摘もいただいております。

歩道は基本的に歩行者が安全に通行できるためのものです。駐輪のルールを守る、駅前の歩道は自転車を降りて押して歩く、など、歩行者への配慮が必要です。

駐輪場や自転車道整備にお金をかけているのは、自転車に関係した事故を減らすためです。自転車を優先するハード整備だけに頼らずに、自転車利用のマナー向上やソフト事業にも力を入れていかなければならないと、提案してまいります。



五合橋線船原交叉点付近

9月議会代表質問 障害者雇用について

	手帳を持って いる人の数	18歳～65歳 の人の数	その割合
身体障害	6945人	2051人	30%
知的障害	993人	940人	95%
精神障害	1149人	962人	84%
合計	9,087人	3953人	

働いている人の数	
福祉的就労	約600人
一般就労	約500人
合計	約1,100人

この差が働いていない、働けていない人になります。

伊丹市の障害者雇用の実態については左の表のようになっていいます。差の約2,800人は、障害が重くて働けないか、働きたくても働けていない人にあたります。法律では、2%～2.3%の障害者雇用率を達成するよう義務付けています。障害福祉課でも、ハローワークでも実際の数字をつかんでいないそうです。就職してもすぐに止めるケースもあり、実態把握は難しいということでした。

Q. 伊丹市役所での障害者雇用は、障害者枠の採用はあるのか、伊丹市でおこなっている「障害者チャレンジ事業」の効果は？

A. 障害者雇用率は、H28年6月1日現在、市長部局、行政委員会、公営企業含めると2.72%、うち正職員は1.93%になる。

障害者枠での採用試験は行っていない。試験の時に拡大鏡の持ち込み等の配慮はしている。採用後は、トイレの改造や執務室のレイアウト変更、聴覚障害者の面談には、筆談や手話通訳の立会を行うなどしている。

障害者チャレンジ雇用事業は、市の公共施設で、公用車の洗車、書類のファイリング、図書館での返本業務について、平成27年度ではのべ12人を雇用し、うち1名が一般就労に結びついた。市役所で働いた経験が、自信になり就労意欲を高めることに繋がっていると思う。

ばんこの意見

障害者雇用枠を設けている自治体もあります。ぜひ、障害者枠を設けて欲しい、と意見しました。職員採用試験要項に書くことで、市民にも障害者雇用について広く理解を求めることにもなります。チャレンジ雇用は、人目に触れない場所での作業が多いので、もっと範囲を広げて、活躍している姿を見ていただきたいと思います。人それぞれに「できない」事は、あります。一方「できる」事も人それぞれ。できることに注目すれば、仕事はたくさんあるはずですよ。

今回の質問にあたって、ハローワーク、社会福祉協議会、障害者団体などから聞き取り調査をしました。ハローワークで求職活動を行っている人の、4人に1人しか仕事に就くことができていない現実を知らされました。

企業側からは、障害者に任せる仕事が無い、障害者を雇用したことがないのでどんなことに配慮したらいいのかわからない。障害者や親からは、辛い思いをするのではないかと、続けられなかったら迷惑がかかる、辞めた時戻るところがない、などと言うご意見をいただきました。また、何人が働いているか、よりも「就職した人が、なぜ続けられなかったか」という理由を分析することが、障害者の就労のヒントになるのでは、というご指摘は、今後の研究に活かしてまいります。少しずつでも、障害者雇用に理解が進むよう、企業や社会へ働きかけていきたいと思います。

いたみ杉の子の利用者さんによる、清掃ボランティアお仕事として発注することはできないのでしょうか？



平成27年度一般会計決算特別委員会から

1. 斎場の臨時駐車場に止まっている通勤用車両は？

Q. 船原町にある伊丹市斎場。平成26年度から、指定管理制度を採用している。桜ヶ丘1丁目には、臨時駐車場があるが、これは指定管理会社の従業員の通勤用車両の駐車場となっている。どのような手続きで許可しているのか。この臨時駐車場は必要なのか？

A. 斎場の業務は、大災害等が起きた時は絶対に必要だし、その業務を行うことのできる者が他にいないため、駐車を許可している。申請書や許可証などは交わしておらず、口約束となっている。臨時駐車場は、利用者用には開放していない。炉などの修理業者が使う時もある。市の財産簿を調べたら、斎場が管理する土地となっていないので、正しく手続きしたい。

ばんこの意見

桜ヶ丘1丁目の臨時駐車場には、2年ほど前から3台の車が無造作に止まっているので、近隣の方からどうなっているのか？とのお問い合わせを受けての質問でした。必要なくなった土地ならば、売却するほうがよいのでは、と提案しましたが、市の財産帳簿から漏れている事も分かりました。市職員は、公共交通機関か、車通勤でも施設外に駐車場を借りるのが基本となっているはず。この件については、12月議会で我が会派の林議員から追加質問をしていただき、土地はどうするのか、駐車はどうするのか、明らかにしていきます。



過去には、臨時駐車場として利用されていた、70坪ほどの土地です。

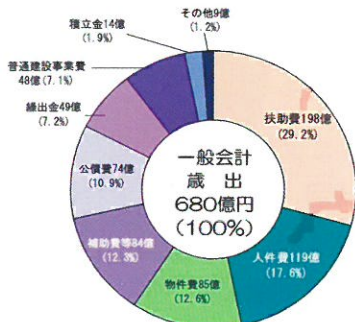
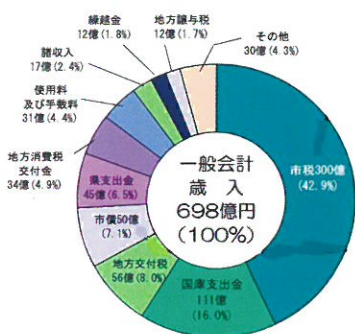
また、斎場の休場日が年間62日（友引と年初2日）と多いため、市外の斎場を利用せざるを得ない人もいます。人間、死ぬ日を選べないのですから、市民サービスを考えて、開場日を増やしてもらよう検討を求めました。

斎場

2. 平成27年

度も黒字決算！

3. ふるさと寄附



平成27年度も、単年度収支（黒字）が、（翌年の事業に使うお金を差し引いて）7億5000万円弱となりました。貯金は財政調整基金70億円など、100億円程度。一方で、借金も普通債（伊丹市独自の借金）と特例債（国が肩代わりしてくれる借金）と合わせて632億円あります。

お金が無いわけではないけれど、余裕があるわけでもなく、施設をたくさん持っている伊丹市にとって、建て替えが一番の悩みどころ。熊本大地震を受けて、市役所の建て替えも前倒しされる予定です。市民のみなさんのご希望を聞いて、施設の廃止をどこまでやりきることができるか、がこれからの課題です。

人気のふるさと寄附ですが、伊丹市は返礼品に魅力がないというお声。それでも、平成27年度は2530万円の寄附がありました。28年度からは、伊丹市民でも伊丹市に寄附できることになり、返礼品も充実されています。ただ、この制度いつまでも続く保証はありませんので、お早めに！



(伊丹市のふるさと寄附のパフレットより)

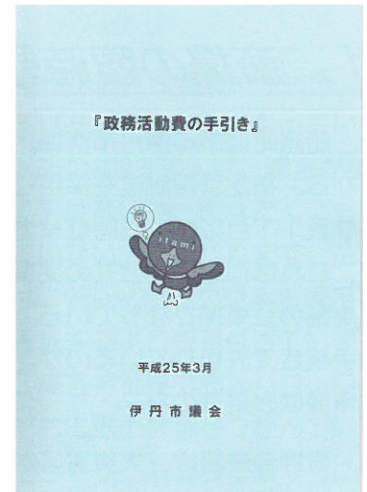
☆伊丹市議会の政務活動費は？

兵庫県議会の号泣議員事件から、議員の政務活動費の不正が次々と明るみに出ています。伊丹市議会では、どうなっているのか、といえば、

1. 会派ではなく、議員個人に支給される（条例で規定）
2. 月額6万円、年額72万円、3か月毎に18万円が前払いで、議員個人の口座に振り込まれる
3. 用途は「政務活動の手引き」で詳しく規定されている（これです→）
4. 領収書は1円以上必要、原本を提出、年度末に報告書提出
5. 平成27年度の執行率は92%（返還率は8%）
6. 市の監査委員会の監査対象となっている
7. 閲覧は、事務局で可。写しは、コピー代が必要（1枚10円）

収支報告は、議員全員が同じフォーマットを使って作成しています。報告書のネット公開は、早い時期の実施に向けて検討しています。

議員が出す「議会報告」（このニュースのようなもの）は、過去には、全戸ポスティングや新聞折り込みは認められていませんでした。現在は、より多くの市民のみなさんから意見を伺うための資料として、OKになっています。会派としてのニュースは問題ありませんが、政党名の付いたニュースや選挙直前の「選挙リーフレット」のようなものは、×です。



H27度分 高塚ばんこ		
調査研究費	21,000	会派視察
研修費	3,600	研修会参加
広報費	466,200	ニュース印刷配布
広聴費	1,800	報告会会場費
資料作成費	215,000	コピー機リース
資料購入費	22,400	書籍購入
合計	730,000	支給660,000

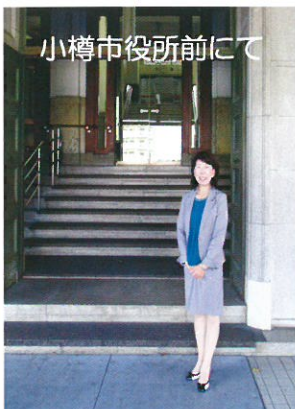
常任委員会視察のご報告（ニセコ町・小樽市）

ニセコ町 分かり易い予算書について

毎年予算が可決されると町民全員に、その年に行われる事業と予算を分かり易く書いた冊子が配られます。書かれている予算の金額の表し方や、議会としての関わり方を伺うことができました。人口5000人の小



さな町ですが、移住人口が増え続けています。伊丹創生のヒントもたくさんいただくことができ、非常に参考になりました。



小樽市 観光行政について

関西圏への海外からの観光客の増加に伴って、伊丹市でも外国人観光客対応が必要となってきています。行政が取り組めること、官民で共同で行うことなどについて伺いました。

☆第10回ばんばんトークのご案内☆

今回は、フリートークが中心です。市政や市議会に対するご意見やご質問をお寄せ下さい。

1月28日（土曜日）午後1時半～
スワンホール 1F 会議室2にて

高塚ばんこのプロフィール

1959年 三重県生まれ、
愛知県立大学スペイン科卒業
2003年 市議初当選、現在3期目
いたみ未来ネット代表
総務政策常任委員会副委員長
クリーンランド議会議員他



発行責任者：高塚ばんこ
自宅住所：伊丹市西台3-6-22-302
市議会事務局電話 072-784-4090

高塚メールアドレス：banko@brown.plala.or.jp
高塚Tel/Fax（自宅） 072-770-0444
ブログ：「ばんこがいく！」

市政、市議会に対するご意見・ご相談はお気軽に！